

V 道路改良事業：一般国道 486 号 新市府中拡幅

(1) 事業概要

- ① 事業箇所 福山市新市町戸手～府中市須町
- ② 規模等 道路延長：3,400m 車道幅員：13.0m（全幅員：30.0m）
- ③ 全体事業費 26,400 百万円（前回の再評価時と同額）
- ④ 工期 平成9年度～令和15年度（前回の再評価時は平成9年度～令和8年度）

(2) 再評価の事由

知事が特に必要であると認める事業であるため

(3) 審議内容

① 事業の内容と必要性

一般国道 486 号は、備後圏域の東西軸を形成し、広域連携の強化や物流効率化などに寄与する重要な路線であり、府中市や福山市においては、福山市中心部や山陽自動車道福山東 I C、重要港湾福山港等へのアクセス道路となる路線である。

本事業区間においては、慢性的に交通渋滞が発生している状況であり、交通の円滑化や交通安全の確保、中国横断自動車道尾道松江線等へのアクセス向上、災害に強い道路ネットワーク構築等のため、早急な整備が必要である。

② 事業を巡る社会情勢及び必要性等の変化

国勢調査によると、府中市の人口は、平成 27 年度の 40,069 人に対し、令和 2 年度は 37,655 人、また、福山市の人口は平成 27 年度の 464,811 人に対し、令和 2 年度は 460,930 人と両市ともに減少しているものの、本事業区間は、令和元年には、国から「重要物流道路」の指定を受けるなど、物資の安定輸送を行う上で、非常に重要な路線であることから、事業の必要性に変化はないものと考えられる。

③ 進捗状況と今後の見通し

橋梁の架設方法の見直しや、用地進捗の遅れにより事業の完了予定年度が令和 8 年度から令和 15 年度に延伸されたものの、現在は令和 15 年度の事業完了に向けて、着実に事業が進められている。

④ 事業費の増減と現時点での費用便益比

前回の再評価時と比較し、全体事業費に増減はない。

費用便益比 B/C については、「費用便益分析マニュアル（令和 5 年 12 月国土交通省道路局 都市局）」に準拠して行われた分析によれば、評価期間を部分供用開始後の 50 年間、社会的割引率を 4.0%とした結果、前回の 1.2（総便益（B）：390.3 億円、総費用（C）：326.8 億円）から 1.2（総便益（B）：442.1 億円、総費用（C）：373.2 億円）と増減はない。

⑤ その他特筆すべき事項

一般国道 486 号は、広島県第一次緊急輸送道路（広島県緊急輸送道路ネットワーク）に位置付けられており、本事業区間を整備することで、走行性が大きく向上し、大規模災害直後から発生する救命活動・物資輸送などを迅速かつ確実に行うことができるようになる。

(4) 結論

事業の必要性と費用便益比を勘案し、当該事業の継続実施については適当と判断する。

関係各位には、コスト縮減に取り組むとともに、予定としている令和 15 年度までに事業を完了させ、計画どおりの事業効果が得られるよう、一層の努力をお願いする。